

07年春<山歩きの会>報告

日生夕立受け山に登る



4月6日（金）MC駐車場9：00 出発、現地集合10：00

参加者 間野、妹尾、亀田、竹原、木村茂、芦原、菅田、田淵、
豊田、立花、同友人、沖見、大野、吉岡 <受付順> 14名

今回は参加者の内これまでに届いたメール、感想文、作品をもって報告とします。

<<なお、写真は大野さん、田淵さん、吉岡撮影を使用しました。>>



“夕立受山” そんな優雅な名前の山が、ブルーラインの片上大橋のすぐ北にある。吉岡幹事ひきいる一行14名が、4月6日 この山頂を目ざした。昨日までの天候とは打って変わった 絶好の行楽日和に恵まれ、お互いの平素の精進をたたえあいながら登山道へ入る。 さほど高くもない山ながら、桜やつつじにいろどられ、コースもよく整備されていて歩きやすい。一汗かいて、頂上にたどりつくと、片上大橋や、かき筏の浮かぶ片上湾が一望でき、しばし 感嘆の声があがる。そして、昼食は 日生名物の“かきおこ” とくる。 さすが幹事のご推奨のことだけあって、そのうまさ加減には全員脱帽。満足度は更に上昇する。県外から越境して、訪れる客も多いというのも頷ける。五味の市をちょっとだけ覗いて帰路につく。 大部分の人が、途中 伊部を散策、陶工達の氏神 天津神社の塀に張り付けられた陶板など見学のあと、街角の喫茶店でささやかなセレモニーを行って、楽しかった1日を締めくくった。 因みにこの日の歩数は約4000であったとか。幹事さん いつもながら大変お世話になり有難うございました。皆さんお疲れ様でした。 < 木 村 茂 記 >



今日はお世話になり有難うございました。慣れない所なので余裕を見て家を出たので、9時半頃には現地に着きました。しばらく鳥の声に耳を傾けたり写真を撮ったりしていましたが、だれも現れないのでひょっとすると日時を間違えたかと思い始め、頂上まで独行して見ることにしました。頂上から見る邑久の海は素晴らしい景観で満足しました。

みなさんには私のためにご心配をいただいたそうで、申し訳なく思います。今後はやはり同乗させて頂いた方がよいように思いました。

寒河のタマちゃんは噂にたがわぬ味で堪能しました。家族も一度案内してやろうと思います。< 間野さん >



夕立受山の山歩き、天気・桜に恵まれ大変結構でした。所々桜で明るくなった山々と穏やかな瀬戸の海、まさに春そのもの。お昼にいただいた かきオコにも満足。

花びらを飲み込んでも呑み込んでも海は藍

団栗の落ち葉を褥に山つつじ

適当に5・7・5を指で折ってみました。

< 豊田 さん >

快晴の天気と、満開の桜に恵まれた、此の度の山歩きは、たいへん満足いたしました。

備前片上にこんな素晴らしい所があったのを知りませんでした、再度訪ねて山公園全部を歩いて見たいと思いました。

<大野さん>



昨日は大変お世話になりました。

遅まきながら初めて参加させていただきましたが、近くにこんな素晴らしい所があったのかと感激しました。

暑くもなく寒くもなく心地よい春風が頬を撫で、山桜が咲き誇り、眼下には牡蠣いかだが浮かぶのどかな風景は絶品です。タマちゃんのカキオコも一度行ってみたいところでしたので大満足でした。

山を知り尽くした幹事さんのご苦労に感謝しています。

< 菅田さん >

永年、岡山に住んでおりますが、あんな絶景の場所があったとは、と驚いています。

季節がら桜が咲いている光景は各所で拝見しますが、光り輝く湖に見まがわしき鶴見湾の景色に加え

山桜と牡蠣筏の山海を取り合わせた風物は、当に絶景と申しても過言ではないでしょう。ちょうど天気も

絶好で時間帯もよく、光り輝く太陽光線の角度が絶妙でした。当日私は山登りと思い荷物はなるべく持たないようにと勝手に決めて、カメラを持参しなかったことが残念で仕方ありません。又、復路、備前の陶芸の里の観



光は久方ぶりであったため、改めて沢山の穴場を紹介いただき、その改変振りに驚きました。遠路はるばるお見えになる旅人たちの思いを十分満足させる街になったな、と感じました。

一日を通じ、バラエティに富んだ内容にあふれた小旅行でした。こういった楽しい企画は大いに歓迎です。

幹事さんお疲れ様でした。有難う。

<竹原 さん>



2007/4 吉岡 記 (RSK OB)